

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>(学位授与の方針) 〈博士前期課程（修士課程）〉 本学の教育理念を基本とし食物栄養科学研究において、各専攻領域における高い水準の教育・研究を行い、専門的学識に裏打ちされた応用力を発揮する職業人ならびに自立した研究者の養成をおこないます。研究科の定める年限において学修し、必須単位を修得したうえで、修士論文の中間報告、最終審査に合格することをもって修士の学位を授与します。</p> <p>〈博士後期課程〉 本学の教育理念を基本とし食物栄養科学研究において各専攻領域に関する高度な教育・研究を行い、研究科の定める年限において学修し、必要な単位数を修得したうえで、博士論文の最終審査に合格することをもって課程博士の学位を授与します。なお、研究科のカリキュラムプロセスを経ることなく提出される論文については、研究科の規定に基づき博士論文に相応しい専門的知見が得られているかどうかを審査し、合格することをもって論文博士の学位を授与します。</p>	<p>(教育課程編成・実施の方針) 〈博士前期課程（修士課程）〉 ・武庫川女子大学大学院食物栄養科学研究科修士課程では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけた人材を育成するために、各領域における研究の基礎を支える知識・技能を付与するとともに、研究の方法・態度を体得させる教育課程を編成します。学部での専門知識を基に、各専攻で高度な専門的カリキュラム編成を行います。 ・双方向的学修の研究を重視し、学修・研究の集大成として、修士論文の中間報告と、最終提出をもって、その達成度を評価します。</p> <p>〈博士後期課程〉 博士後期課程ではディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような人材養成の方針に基づき、カリキュラムを編成します。 食に関する幅広く高度な専門知識と優れた研究能力を兼ね備え、高度な食物学専門知識と科学的思考力を身につけ、食品・栄養分野で広く研究・技術開発等の高度な専門性を有し主体的に実行できる能力を有した研究者・職業人を育成します。また、教育課程の評価については、修了年次に提出する博士論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>	<p>社会の動向や予防・医療現場に対応した予防栄養・医療栄養への実践力と応用力を身につけ、または、社会情勢の中で食産業界のあらゆる分野で発揮できる企画・運営能力を身につける。食物栄養科学研究科、食物栄養学専攻・食創造科学専攻の2専攻から構成し、次のような資質を満たす入学者を受け入れる。</p> <p>〈博士前期課程（修士課程）〉 ・一般的並びに専門的教養を持っている男性・女性。 ・専門分野を高度に学修・研究し、高度な専門性を要する職業等に必要能力を得たいと希望する者で、学問に対する意欲をを充分にもつ者を求める。</p> <p>〈博士後期課程〉 ・専門分野について、専門家・研究者として意欲的かつ自立して研究活動が行える資質をもつ男性・女性を定める。</p>